

チャレンジ ふくしま



応援隊通信



平成 29 年 3 月 vol.8

東日本大震災・原子力災害からの風評払拭・風化防止を図るため、全国各地の福島県人会の皆さんと連携して「ふくしまの今」を県外の方々に情報発信する「チャレンジふくしま応援隊」情報発信事業について、平成 28 年度は 12 県人会の御協力により実施してきました。

「応援隊通信」では、各地の福島県人会の活動の様子をご紹介します。

応援隊参加県人会の現地研修会

「応援隊」として活動いただく県人会の皆さんに、本県の現状を見て、復興状況などへの理解を深めていただくため、平成 28 年 7 月 7 日から 8 日にかけて、福島県内での現地研修会を実施しました。

今年度の現地研修会は津波及び原子力発電所事故の被害を受けた檜葉町といわき市で開催し、12 県人会 20 名にご参加いただきました。

初日は、天神岬スポーツ公園で、ふるさと案内人から東日本大震災時の津波被害の状況や除染廃棄物の仮置き場などの説明を受けた後、木戸川漁協の放射能簡易測定所やピレージなどを視察しました。



(天神岬スポーツ公園)

その後、檜葉町サイクリングターミナルでの研修会で、各県人会の活動報告と情報交換を行いました。



(研修会)

2日目は、いわき市の久之浜・大久ふれあい館やアクアマリンふくしまを視察し、津波被害の状況やその後の防災対策、復興状況を確認しました。



(久之浜・大久ふれあい館)

2日間の現地研修を通じ、復興に向けて歩む福島県の姿を見ていただき、本県の現状を県外の方に発信していただく一助になれば幸いです。

西東京市福島県人会 「市民まつり」

今年度から「応援隊」事業を受託した西東京市福島県人会では、平成28年11月12日、13日「市民まつり」に出店し、福島県産品の試食会や観光・産品のPR、県からの委託の福島県アンケート調査などを行いました。



亜細亜大学のボランティアグループの協力も得て、手伝い参加者は2日間延べ44人に上りました。新規会員も21名の入会があり、会の結束と共に楽しかったとの声が多く寄せられました。

関西福島県人会 「第42回福島区民まつり」

平成28年10月29日、関西福島県人会では、大阪市福島区民まつりに出店し、県産品の販売や観光PRを行いました。

当県人会のブースでは、会津地鶏串焼き、福島県産牛串、桃の恵み、りんごなどを販売しました。天候にも恵まれて多くの来場があり、2日間ですべての商品が完売する大盛況となりました。



同じ「福島」つながりからか、来場者は当県人会に対してとても親近感を持っていただけているようでした。

東久留米市福島県人会 「東日本大震災復興支援講演会」

東久留米市福島県人会では、平成29年2月5日、会津電力社長の佐藤 彌右衛門氏を講師に招き、「再生可能エネルギーで地域を興す」という演題で、復興支援の講演会を行いました。

会場の受付で福島県の観光情報誌などを配布し、講演会の休憩時間にはアンケート調査を行いました。

当日は380人が来場し、超満員の盛況でした。後日、チケット収入の一部の18万4千円を義援金として福島県東京事務所に寄託しました。



次回も、各地の県人会の皆さんの活動を紹介しますので、活動報告をよろしくお願いいたします。

【編集・発行】

福島県 県民広聴室

TEL : 024-521-7013

Eメール : koucho@pref.fukushima.lg.jp

